

五十三



丙
七
七
一

立案大正二年二月一日
決裁大正年月日
齋位齋長

宗秩齋總裁



宮内事務官



故母軍女在河野藩雄佐聘正陞一件

大正二年二月一日
三月三日

(十大)

宮内省

裏面白紙

381



故海軍少佐河野静雄位階追陞ノ件
右謹テ裁可ヲ仰ク

大正十三年一月二十九日

内閣總理大臣齋藤清浦奎吾



内閣

2.1

裏面白紙

地 第二號

案 起
壬午一月九日

裁可
十二月一日

行 年 月 日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官



致海軍少佐從六位勳五等河野靜雄
特旨ヲ以テ位一級追陞セラレ

從六位勳五等河野靜雄

叙正六位

一月二十五日付

内閣

内閣
西
一
一
号

叙正六位 大正十三年一月二十一日任海軍少尉以来在職十年以上 故海軍少佐 河野 静雄

右文武官 叙位進階内則 第四條ノ二

依リ
謹ミテ 奏ス

大正十三年一月二十八日

海軍大臣 村上 格



海軍

海秘人第二〇號

大正十三年一月二十八日

海軍大臣村上格



内閣總理大臣爵清浦奎吾殿

河野海軍少佐、多年軍職ニ在リテ
克ク其任務ヲ盡シ功績顯著者、
候處不幸病ニ罹リ一月二十五日死去候ニ
付テハ特ニ位一級被追陞度別紙上奏書
進達ス

海軍



立案大正十三年一月五日

決裁大正 年 月 日

宗秩寮宗當直

當番書記官

案

正七位勳五等河野靜雄

叙從六位

宮内省

右之通本日 宣下相成候條此旨及傳達候位記
辭令ハ追テ可及回送候也

大正十三年 一月二十五日

宗秩寮 總裁

海軍大臣

裏面白紙

一 正位記並辭令及回送候條交付方御取計有之度候也

右位記並辭令及回送候條交付方御取計有之度候也

大正十二年 一月二十六日

宗義

山本

正位記並辭令及回送候條交付方御取計有之度候也



宮内省



七十七

一 仍由中少佐所立之無由所可移候

右特旨ヲ以テ敍位相成候ニ付位記並辭令及回送候
條傳達方御取計有之度候也

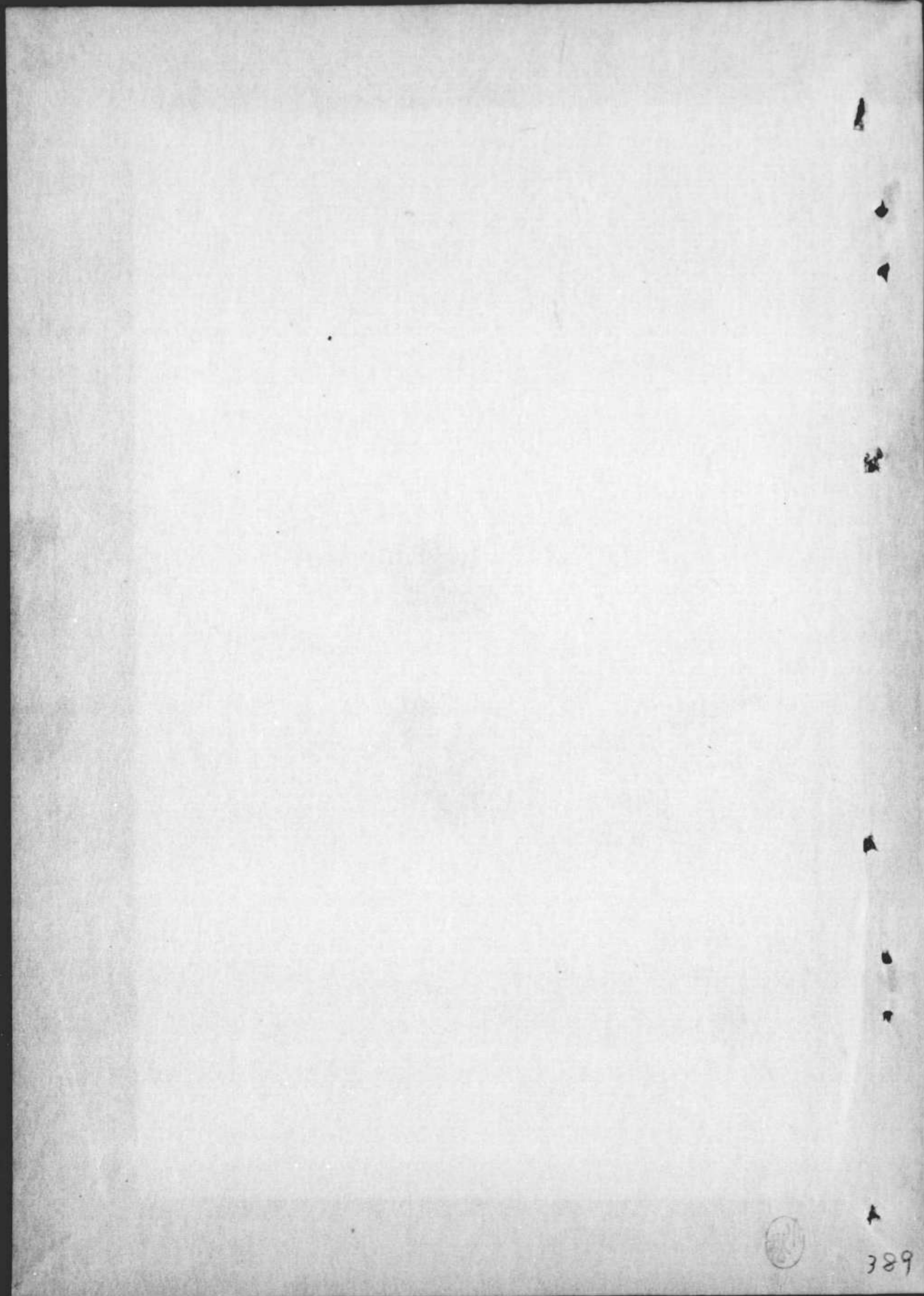
大正十二年 二月 一日

宗秩寮總裁候爵徳川頼倫

山平 左

宮 内 省

裏面白紙



389

